

4. 研究成果

(論文)

- ・ Nakamura T (2015) The action of looking at a mobile phone display as nonverbal behavior/communication: A theoretical perspective, *Computers in Human Behavior* 43: 68-75.

研究成果：

中村潔, 2014, 「バリにおける慣習村組織の変化とその非全体論的解釈」杉島敬志編『複ゲーム状況の人類学 — 東南アジアにおける構想と実践』風響社, pp. 117-152.

(口頭発表)

- ・松井克浩「災害からの集落の再生と変容 — 新潟県山古志地域の事例」(日本村落研究学会第62回大会テーマセッション「災害を処遇する家と村」, 2014年11月, グリーンピア三陸みやこ)

文化史・文化理論の再構築

研究代表者 三 浦 淳

1. プロジェクト内容概略

従来から固定的なジャンルや時代に囚われずに、研究者個人の自主的な関心を軸として推進されているプロジェクトですが、2014年度は後半から新たなメンバーを迎え、多様性や国際性がいっそう高まったと言えるでしょう。

ジャンルで見るなら、映画・アニメ・写真といった視覚芸術分野での研究業績の多さが目を惹きます。各研究の対象が国内外に及んでいるのは当然のことですが、口頭発表・講演やシンポジウムが行われる場所も国内各地だけでなく国際的な広がりを見せています。

他方、視覚と同時に身体性が問われる演劇に関する論文もありますし、人間

の構築した近代的知識体系を根源から再考するフランスの百科全書派に関する研究、そして西洋クラシック音楽に関わる仕事も行われており、研究対象の時代的な幅の広さも特筆すべき点になっています。

人間のありとあらゆる表象文化・知識に関する研究を、過去と現在との双方を視野に収めながら進めてゆく本プロジェクトの真価がここからうかがえるのではないのでしょうか。

2. 参加メンバー

三浦 淳 (代表)

石田 美紀

猪俣 賢司

甲斐 義明

キム ジュニアン

齋藤 陽一

番場 俊

逸見 龍生

3. プロジェクトの進捗状況

■ 著書

□ 単著

○ 甲斐義明

・「発見のための写真」, 愛知県美術館編『これからの写真』愛知県美術館, 2014年8月, 22-30頁

○ 番場俊

・「導入——アラン・セクーラの陰鬱な／悦ばしき学問」, 河本信治ほか『PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015』(公式カタログ) 京都国際現代芸術祭組織委員会, 2015年3月, 総350頁, 146-147頁

○ 逸見龍生

・「『百科全書』の日時計——宇宙の理を希求する」, INAX ライブミュージア

ム編『手のひらの太陽——「時を知る，一を知る，姿を残す」道具——』
(美術展図録)，2014年4月，30-32頁

■論文

○石田 美紀

- ・「高倉健を分有する」、『ユリイカ』47(2)，2015年，168-175頁
- ・「芸術に打ち込む娘たち 占領期の高峰秀子」、『ユリイカ』47(6)，2015年，169-177頁

○甲斐 義明

- ・「新興写真と小型カメラ——木村伊兵衛の『光画』掲載作について」、『人文科学研究』135号，新潟大学人文学部，2014年10月，59-79頁

○キム ジュニアン

- ・Joon Yang KIM: South Korea and the Sub-Empire of Anime: Kinesthetics of Subcontracted Animation Production, *Mechademia 9: Origins*, Vol.9, pp.90-103, 2014年11月

○齋藤 陽一

- ・「日本におけるスタニスラフスキー・システムその2 — 小山内薫の劇評をめぐって —」，新潟大学人文学部研究紀要『人文科学研究』，第136輯，2015年3月，5-25頁

○逸見 龍生

- ・「〈意志〉論の神学・政治的布置——デイドロ執筆項目「政治的権威」におけるパウロ解釈」、『『百科全書』・啓蒙研究』第3号，2015年3月，105-134頁（査読有り）

■翻訳

○三浦 淳

- ・クラウス・カンツォーク『フルトヴェングラーとトーマス・マン ナチズムと芸術家』，アルテスパブリッシング，2015年3月，237頁（195-237頁は訳者解説）

■講演，学会発表等

○猪俣 賢司

- ・「水爆か，生命か — 発光する背びれと東京1954年 —」(話題提供および討議)，猪俣賢司，ミツヨ・ワダ・マルシアーノ，林田新，石田美紀：シンポジウム「ゴジラ再考」，表象文化論学会，第9回研究発表集会，2014年11月8日，新潟大学五十嵐キャンパス

○キム ジュニアン

- ・公開講演（招待）「海外で日本の「アニメ」はどう見られているのか？」，キム・ジュニアン&アレクサンダー・ザルテン，表象文化論学会第9回研究発表集会，2014年11月9日，新潟
- ・「田河水泡の「人造人間」が見ていた「人間」模様」，口頭日文研共同研究会「おたく文化と戦時下・戦後」，2014年11月29日，京都
- ・（招待）「欲望と備給の対象はどのように選ばれているのか～韓国社会におけるアニメ受容史とファンカルチャーの（不）可能性～」，科学研究費基盤研究（A）研究課題番号25244005 ポピュラーカルチャーの美学構築に関する基盤研究集会第2回，2015年1月31日，横浜
- ・（招待）「人形が結んだ東アジア～持永只仁の足跡について～」，国際シンポジウム「文化交渉の視野における日本学」，2015年3月8日，四川外国語大学（中国）
- ・「東アジアの二国におけるアニメーション研究についての考察」，日文研共同研究会「おたく文化と戦時下・戦後」国際共同セミナー，2015年3月14日，京都
- ・公開講演（招待）「Do Animators Have a Mummy Complex?」，Talk at Birkbeck, University of London，2015年3月26日，London

○逸見 龍生

- ・「〈意志〉論の神学・政治論的布置 —— 『百科全書』 デイドロ執筆項目「政治的権威」におけるパウロ解釈」(2)，2014年9月20日，『百科全書』・啓蒙研究会，慶應義塾大学
- ・「〈意志〉論の神学・政治論的布置 —— 『百科全書』 デイドロ執筆項目「政治

的権威」におけるパウロ解釈」(3), 2014年10月11日, 関西フランス史研究会, 京都大学

- ・(招待講演)「文人たちの結社」, 2014年12月6日, 学習院女子大学, ルネサンス研究会
- ・(招待講演)「哲学者と人文主義者——フランス18世紀『百科全書』における〈ヒストリア〉の概念」, 早稲田大学, 2014年12月6日, 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業キックオフ・シンポジウム「新しい人文学の地平を求めて—ヨーロッパの学知と東アジアの人文学—」
- ・(国際シンポジウムの主催) Tatsuo HEMMI (Université de Niigata), « *Omnis potestas a Deo ordinata est* : interprétation d'une péripécie de Saint Paul dans l'AUTORITÉ POLITIQUE de l'*Encyclopédie* », 国際シンポジウム「『百科全書』における哲学」2015年2月21日(土)・22日(日) 広島大学東京キャンパス(CIC), 主催:『百科全書』・啓蒙研究会, フランソワ・ペパン(CERPHI, Institution d'Histoire de la Pensée Classique, ANR Anthropos, ENS de Lyon), Conseil de recherches en sciences humaines du Canada, À CIC Tokyo, Hiroshima University's Tokyo Office, 基調報告
- ・(国際シンポジウムの主催) Tatsuo HEMMI, « l'article AME : HMARS, James et le dictionnaire de Trévoux », Journées d'Études autour de l'*Encyclopédie* et de des Académies, Les 23-24 février 2015, Organisé par GEEL (Groupe d'Études sur l'Encyclopédie et les Lumières) et François Pépin (CERPHI, Institution d'Histoire de la Pensée Classique, ANR Anthropos, ENS de Lyon), Co-organisé par Conseil de recherches en sciences humaines du Canada, 基調報告

○三浦 淳

- ・講演「ドイツの詩と歌曲」, 「ドイツの詩と歌曲の夕べ」第一部, 2014年9月6日, 新潟市民芸術文化会館

■書籍・新聞・雑誌への寄稿, 解説, 企画等

○石田 美紀

- ・コラム「アメリカ映画世紀」, 山室信一・岡田暁生・小関隆・藤原辰史編『現

代の起点 第一次世界大戦3 精神の変容』, 岩波書店, 2014年, 266-267頁

○甲斐義明

- ・「今月のこの本」(百々俊二『日本海』書評), 『日本カメラ』, 2014年9月号, 155頁

○キム ジュニアン

- ・「オピニオン:[聞く] アニメ・ロボットを研究 キム・ジュニアンさん」, 森沢真理, 新潟日報, 2015年1月31日, 被取材
- ・科研研究集会「現代映像文化における声と身体 — アニメーションを中心に」でのコメンテーター, 科研費・挑戦的萌芽研究「デジタル時代における〈声〉の様態と経験に関する領域横断的研究」主催, 3月18日, 新潟大学

○番場 俊

- ・表象文化論学会第9回研究発表集会における企画パネル「アラン・セクーラ, 写真とテキスト, イメージと地政学のあいだI」(PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015と共催, 2014年11月8日, 新潟大学五十嵐キャンパス)のオーガナイズと司会
- ・表象文化論学会第9回研究発表集会の関連企画「アラン・セクーラ, 写真とテキスト, イメージと地政学のあいだII (トークセッション)」(PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015と共催, 2014年11月9日, 砂丘館)の企画